



【事業目的】

- ① 既存校舎躯体の老朽化対策（長寿命化）
- ② 耐久性に優れた材料などの取り換え（外壁・防水改修）
- ③ 室内環境の改善（内装の木質化・外皮性能の向上）

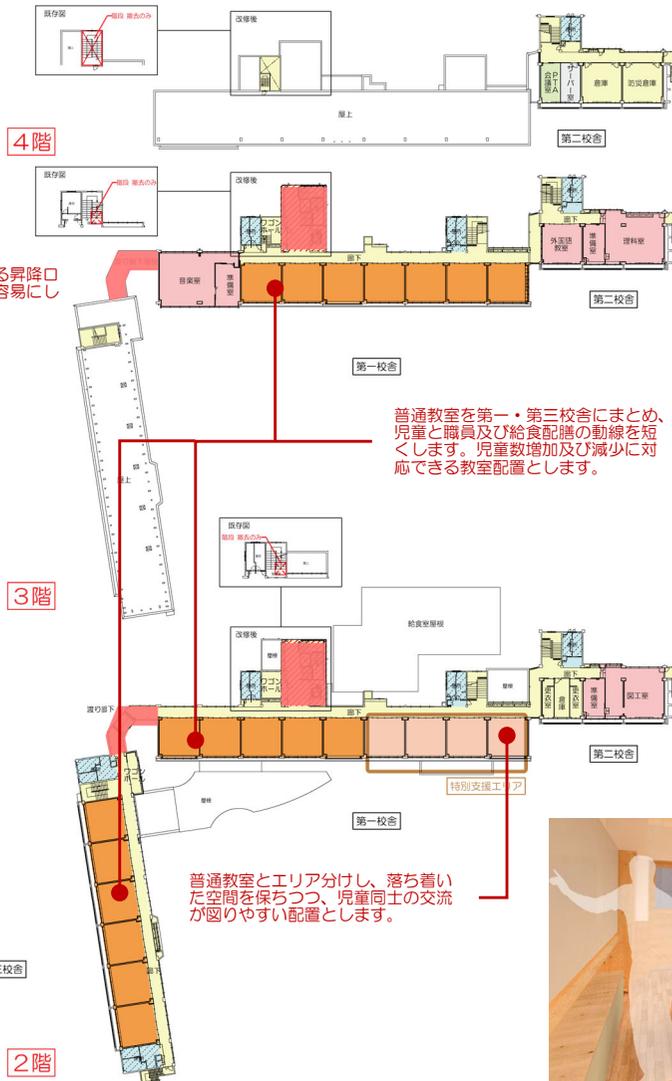
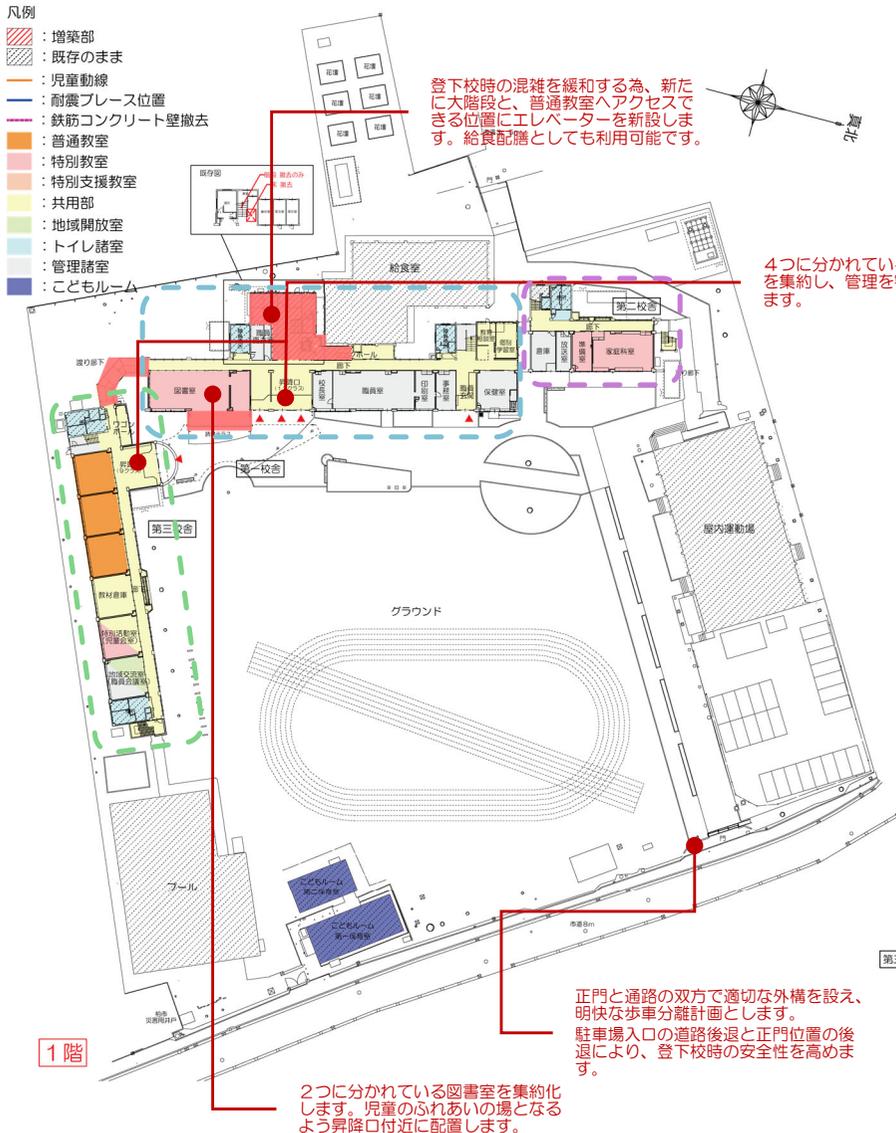
【基本方針】

- 1) 児童生徒や教職員の学習環境・生活環境の向上  
多様な学習内容、学習形態に対応した、快適な学習環境、生活環境づくりを目指します。
- 2) 安全性やセキュリティ、防犯などを考慮した施設  
安全性を確保し、安心感のある施設を目指します。外部からの来訪者を確認しやすい配置や児童生徒に教職員の目が届きやすい教室配置及び外構の歩車分離を考慮します。

- 3) バリアフリーなどインクルーシブ教育への対応  
障害のある利用者が、安全かつ円滑に学校生活が送れるよう、施設の運営、管理、人的支援などのサポート体制との連携を考慮します。
- 4) 環境に配慮した学校づくり  
内装の木質化や家具への積極的な木材の活用を目指します。また、高断熱材による断熱工法を採用し、外壁の空調負荷を低減し、高効率機器の導入やLED照明の採用による省エネルギーに配慮します。

■配置計画・長寿命化改良概要

※外構工事、グラウンド整備は長寿命化改良工事後の想定となります。



○長寿命化改良概要

①躯体の老朽化対策

- ・コンクリート中性化対策の検討  
コンクリートの中性化深さを調査し、鉄筋に発錆の恐れがあると判断される箇所は中性化深さに応じた改修方法を検討します。

- ・柱と梁の補強  
改修後の教室配置計画に伴って、やむを得ず耐力壁を撤去する箇所には構造耐力上の危険が増大しないような補強方法を検討します。

②室内環境の向上

- ・内装の全面改修  
教室と廊下の建具を木製建具とし、高い開放性の建具形式を検討します。室内の塗装仕上は塗膜に汚染物質が浸透しにくく、付着した汚れが容易にふき取ることができるものを採用します。

- ・バリアフリー環境の整備  
車椅子利用者及び給食配膳時兼用のエレベーターを昇降口と給食室付近に設置します。第一校舎と第三校舎を接続している1階建ての開放廊下を2階建ての渡り廊下に改修します。改修後は完全に屋内化されます。

- ・縦方向のつながり強化  
学級や学年を超えた交流が生まれるよう、吹き抜けとホールを設けます。吹き抜けとホールは昇降口に隣接した場所に配置し、明るく開放的な昇降口を計画します。



教室のイメージ